

特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟

2019年度 第1回理事会

議事録

日時：2019年10月14日（月）13：00～16：30

場所：日本財団ビル 2階 第一・第二会議室

出席者：椎名茂、古市隆一、大日方邦子、隅野礼雄、二星謙一、岩間秀子、夏目堅司、東海林史朗、井上真司、徳田康、内海けい
(11名)

委任出席：渡辺孝次、安藤佳代子、荒井秀樹、山口聖子、小林清美、狩野亮、新田佳浩、櫻本利幸
(8名)

欠席：菅間賀巳、中村勝彦（2名）

出席監事：宮田隆司、（1名）

欠席監事：大内智（1名）

理事候補者4名は欠席

椎名会長より定足数の確認がなされ、21名中19名出席（委任状出席を含め）であり、定足数を満たし本会は成立するとの発言がなされた。議事録署名人には、古市理事、隅野理事が指名され了承された。書記には、事務局石丸が指名された。

会長より挨拶があり、次第の確認がなされ、定款の則り議長は会長が行うことが確認され会議が開始された。

椎名会長挨拶

総会前の理事会で今日、決算・予算を決めて総会に臨む重要な会議になります。

【審議事項】

1. 平成30年度の事業報告について

椎名：資料に基づき各委員会から報告してください。

大日方：パラアルペン・IDアルペンのチーム事業内容について説明された。

大日方（渡辺委員長欠席のため）：パラノルディック・IDノルディックチームのチーム事業内容について説明された。

二星：パラスノーボードチームのチーム事業内容について説明された。

古市：普及委員会については安藤委員長不在、普及委員会の事業内容について説明された。総会時には安藤委員長より説明してもらおう。スキー場とスキースクールの実態調査については、使いやすいものにしたら良い物になるので普及委員会で検討をしてほしい。

隅野：広報委員会・マーケティング委員会の事業内容について説明された。

古市：総務委員会の事業内容について説明された。

岩間：アンチドーピング委員会の事業内容について説明された。

大日方：国際委員会の事業内容について説明された。

椎名：用具技術開発の事業内容について説明された。

椎名：選手委員会と法務倫理委員会の活動はなかったということです。

権名：事業報告の内容について意見を求めたが特になく、平成30年度の事業報告について承認を求めたところ、全員賛成で承認された。

2. 平成30年度の決算について

古市：配布した決算書類に基づき決算内容の説明がされた。収益と支出についてそれぞれの項目ごとに詳細の説明があった。

夏目：業務委託費が大幅に削減されているが、その理由は？

権名：平昌パラのための業務委託があったからだと思いますが、詳細は総会までに確認します。

権名：平成30年度の決算について承認を求めたところ全員賛成で承認された。

3. 2019年度の事業計画について

権名：各委員会から計画について説明してください。

大日方：パラアルペン・IDアルペンの事業計画について説明された。

パラノルディック・IDノルディックの事業計画について説明された。

二星：パラスノーボードの事業計画について説明された。

古市：普及委員会の事業計画について説明された。

権名：さっぽろスノーフェスタが計画に載っていないが？

東海林：トップクラスの選手を呼ぶような計画ではない。

権名：連盟がどのような関わりになるのか確認します。

古市：普及委員会の事業計画の中にさっぽろスノーフェスタを入れる。

夏目：普及事業として今年は新たに体験会を開催する。

隅野：広報・マーケティング委員会の事業計画について説明された。

夏目：会員向けのサービスを充実させてほしい。

隅野：会員向けの情報提供を充実させる予定。

岩間：アンチドーピング委員会の事業計画について説明があり、今後は新人向け研修を実施するとのこと。

大日方：選手委員会で選手総会を春に実施するように計画していると説明された。

古市：総務委員会等一覧で示された委員会の事業計画について説明された。

権名：2019年度の事業計画について承認を求めたところ、全員賛成で承認された。

4. 2019年度の予算について

古市：配布した予算書に基づき収益と支出の内訳について説明があった。

大日方：国際委員会の海外会議は年2回（秋と春）あるので予算手当が必要。

古市：それを考慮した予算書にします。

権名：2019年度の予算について承認を求めたところ、全員賛成で承認された。

5. パラアルペンチームの強化指定選手（次世代）について

大日方：新たに次世代指定選手7名の追加について説明があった。

権名：次世代指定選手の追加について承認を求めたところ、全員賛成で承認された。

6. 定款の変更について

古市：定款の役員任期と就任時の年齢制限の変更について趣旨説明がされた。

椎名：定款変更について承認を求めたところ、全員賛成で承認された。

7. 規程の修正について

石丸：事務分掌規程の修正について説明。

椎名：第10条強化本部に連携先として、国際委員会・用具技術開発委員会・選手委員会を追加するが必要と考える。

椎名：第10条の条文に追加することを条件に承認を求めたところ、全員賛成で承認された。

石丸：行動規範の修正について説明。

椎名：承認を求めたところ、全員賛成で承認された。

石丸：強化指定選手規定の変更について説明。

椎名：承認を求めたところ、全員賛成で承認された。

8. 役員への諸謝金等の支払いについて

石丸：役員への諸謝金等の支払いについての理事会承認の必要性を説明した。

古市：諸謝金等の支給を受ける役員の退場を促した。

椎名：役員への諸謝金等の支払いについて承認を求めたところ、全員（退場した役員を除く）賛成で承認された。

【報告事項】

1. アジアカップ大会について

大日方：大会概要について報告された。

「2020 菅平パラアルペン競技大会アジアカップ」大会名称に菅平を入れるかについて確認したい。

椎名：菅平の名称はいらぬのでは？スポンサー集めを考えないといけぬ。

2. 会議日程について

石丸：2019年度の総会・理事会・常任理事会の日程について報告された。

3. 平成30年度の監査結果について

宮田：9月28日に業務監査・会計監査を行ったことについて報告された。

4. 広報・マーケティングにおけるSNSの活用について

内海：各チーム毎に情報発信しているが、連盟として統括したものを作りたい。

FB・インスタの連盟アカウントを作る。内海理事、隅野理事、事務局小野、石原をメンバーとして進めていくと説明された。

椎名：情報の発信者を事務局にすることは無理がある。

大日方：発信するにはガイドラインを作成しないと行けぬ。

椎名：FB・インスタの連盟アカウントを作ることは理事会承認が必要。

承認を求めたところ、全員賛成で承認された。

5. インテグリティ研修会について

石丸：8月30日に開催されたインテグリティ研修会の内容について報告した。

スポーツ庁から示された中央競技団体向けのガバナンスコードについて資料に沿って読み合わせを行った。原則の1から13については、今後の連盟運営に反映することが求められていることや定期的（4年に1回）に適合性審査が行われることを報告した。

6. その他

大日方：10月11日に強化本部会議を行ったことの報告があった。

以上、審議事項、報告事項、が全て審議、報告され、議長より閉会の通告があり、理事会を終了した。

2019年10月14日

議事録署名人

会 長 椎名 茂

理 事 古市 隆一

理 事 隅野 礼雄